

Table of contents

はじめに	3
テンプレートの説明	3
実行方法	3
bookdown 版でとてもお世話になったサイト	4
概要	4
本書の特徴	4
想定読者	4
各章の紹介	4
執筆環境	5
R および RStudio、パッケージのバージョン	5
注意事項など	5
ライセンス	5
関連情報	5
 第 I 部 前半	 7
 第 1 章 設定	 11
1.1 マークダウンの書式など	11
1.1.1 セクションへのリンク	11
1.1.2 図表へのリンク	11
1.2 日本語	12

第 2 章	図表	13
2.1	図	13
2.2	表	14
第 II 部	後半	15
第 3 章	注意事項	19

- [illegible]

テンプレートの説明

- ## 実行方法

- Build タブで
 - Render Book > HTML Format
 - Render Book > PDF Format

bookdown 版でとてもお世話になったサイト

- [Bookdown](#) による技術系同人誌執筆

概要

- 本書の目的
 - 説明
- 本書の内容
 - 説明
- 執筆動機
 - 説明
- 今後の展望
 -
- 本書の内容は、[github](#) レポジトリですべて公開

本書の特徴

- 本書の強み
 -

想定読者

- R と RStudio をダウンロードして PC にインストールまでできることが最低条件

各章の紹介

- -Chapter [1](#) 章では

ind	values
version	R version 4.3.0 (2023-04-21 ucrt)
os	Windows 10 x64 (build 19045)
system	x86_64, mingw32
date	2023-11-14

package	loadedversion
tidyverse	2.0.0

執筆環境

- 本書は[Quarto](#)にて執筆

R および RStudio、パッケージのバージョン

- rstudio だけなぜか表示されないので手動で...
 - バージョン RStudio 2023.09.0+463 “Desert Sunflower”

注意事項など

- 本書の内容はすべて windows 環境を想定しています。
- この本に書いてある内容は、筆者が学習したことをまとめているものにすぎないため、正常な動作の保証はできません。使用する際は、自己責任でお願いします。

ライセンス

関連情報

日本語表示

第 I 部

前半

前半が始まるよ

第 1 章

設定

```
library(tidyverse)
```

1.1 マークダウンの書式など

1.1.1 セクションへのリンク

見え方	コード
Chapter 3	<code>[@sec-caution]</code>
3	<code>[-@sec-caution]</code>
セクション 3	<code>[セクション -@sec-caution]</code>
3章	<code>[-@sec-caution] 章</code>
3	<code>[-@sec-caution 章]</code>
注意事項	<code>[注意事項] (#sec-caution)</code>

1.1.2 図表へのリンク

Figure 2.1 を参照

Table 2.1 を参照

1.2 日本語

第 2 章

图表

2.1 图

```
library(ggplot2)
ggplot(mtcars) +
  geom_point(aes(mpg, disp))
```

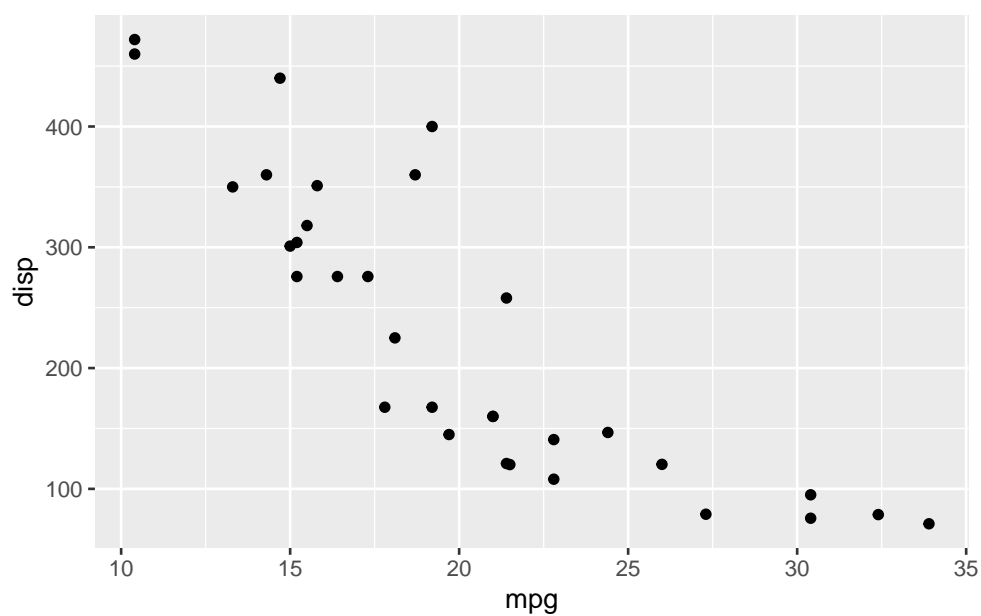


Figure2.1: 散布图

Figure 2.1 を参照

2.2 表

Table2.1: 表タイトル

Col1	Col2	Col3
x	1	10
y	0	20

Table 2.1 を参照

第Ⅱ部

後半

後半が始まるよ

第 3 章

注意事項

- 奇数ページだと 1 ページ白紙になるので，偶数ページにしないとだめ
- 前半，後半部分は，PDF として作成するときはページ数増えるので不要かも

著者：著者名
発行：2019 年 11 月 18 日
サークル名：サークル名
連絡先：メールアドレス
印刷：印刷所名